人づくり・まちづくりのモデル的な拠点施設として

平成 18 年 4 月　交流　環境　機能性　快適性　変化への対応に配慮した

京都御池中学校・複合施設が誕生します

教育と福祉の拠点

地域と歩む学校づくり

都心のにぎわいの創出へ

・京都御池中学校
・乳幼児保育所
・老人デイサービスセンター
・在宅介護支援センター
・にぎわいを創出する施設等

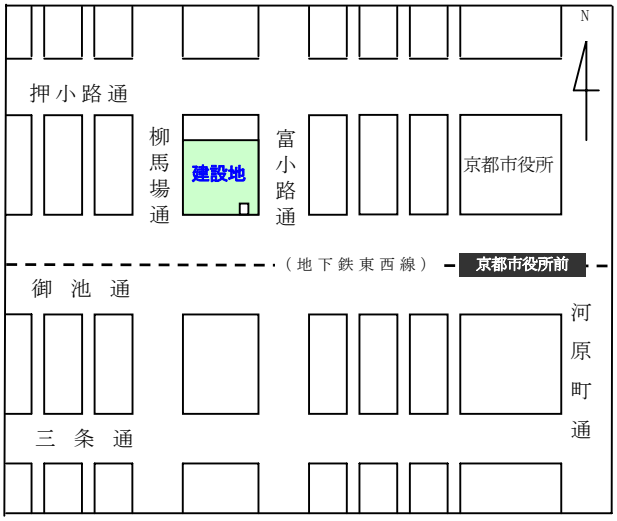
を併設する複合施設を建設

伝統と創生のまち京都から　全国初の新しい

人づくり・まちづくりのモデルを発信します

◆複合施設の建設地

－概　　要－



- **建設地**

  中京区御池通富小路西入東八幡町 579 番地他

- **施設へのアクセス**

  地下鉄東西線「京都市役所前」駅から西へ約 400m

- **敷地面積**

  約 8,400 ㎡

- **御池通沿道特別商業地区**

  平成 16 年 7 月 1 日から，建築物を建築する際，御池通に面した部分の 1 階の床面積の 1/2 以上をにぎわいの用途とすることを義務付けています。

◆京都御池中学校・複合施設の建設

京都御池中学校は，明治 2 年に創設された番組小学校の伝統を継承する城巽・柳池・滋野の 3 中学校を，14 もの元小学校区にわたる地域や保護者の皆様の「子どもたちにより良い教育環境を」という教育にお寄せいただく熱い思いと尊い御英断により統合し，平成 15 年 4 月に開校致しました。

新校舎の建設に当たっては，長期的な展望に立ち，次代の教育に対応できる**中学校**，中京区東部の地域に必要性の高い**乳幼児保育所**，**老人デイサービスセンター**，**在宅介護支援センター**，そして，御池通にふさわしい**にぎわいを創出する施設**や**オフィススペース等**を併設する**全国に例を見ない複合施設**として，平成 18 年 4 月に完成・移転を予定しています。

「教育と福祉の拠点」「地域と歩む学校づくり」「都心のにぎわいの創出」を目的とし，御池通に面する利便性に優れた敷地条件を最大限活用して，複合施設を建設します。

中学生の学びの場であるとともに，中学生，乳幼児及び高齢者との相互交流による心のふれあいを実現し，市内の主要幹線道路である御池通の活性化に寄与する，都心部における**人づくり・まちづくりのモデル施設**として，伝統と創生のまち京都にふさわしい施設となるように取り組んでいきます。

施設の整備等に当たっては，大規模複合施設を総合的に整備し将来にわたって管理していくために適した手法という観点や昨今の社会経済状況下におけるコスト削減について検討を重ねた結果，**政令指定都市で初めて**，学校施設等の整備に，民間事業者の創意工夫や活力を最大限取り入れた**ＰＦＩ手法※を導入**して実施します。

※ＰＦＩ（ピー・エフ・アイ）手法
公共施設の設計・建設，維持管理及び運営等に民間の資金や経営能力，技術的能力を活用することにより，効率的かつ効果的に公共サービスの提供を図る手法です。

◆施設の概要

「一人一人の子どもが輝き，地域の心がふれあう，
都心の安らぎと華やぎのシンボル」
の実現に向け，教育的にも優れた施設

－　交流　環境　機能性　快適性　変化への対応に配慮した施設－

施設内容

○京都御池中学校（約 11,600 ㎡）
- 教室 24 室
- 多目的教室（少人数教育，学年単位の対応可）
- 図書室（4 教室分の大きさ）
- 運動場（約 2,700 ㎡）
- プール（屋上　6 コース，25m）

○乳幼児保育所（約 1,000 ㎡）
- 保育室（定員 90 人：0 歳児～5 歳児）
- 子育て支援室，一時保育室等

○老人デイサービスセンター（約 650 ㎡）
- 機能訓練室，食堂，浴室等

○在宅介護支援センター（約 100 ㎡）
- 相談室，介護機器展示コーナー

○拠点備蓄倉庫（約 180 ㎡）
- 災害応急用物資備蓄倉庫

○オフィススペース（教室への転用も検討）
- 大講義室，執務室等

○賑わい施設
- 御池通にふさわしいにぎわいを創出する施設

○地域便益施設

○観光トイレ
- 時代祭等の観光客等も利用できるトイレ

・規模　地上 7 階（一部 6 階），地下 1 階
・延床面積　約 20,000 ㎡

御池通南西側からの外観図

施設のあらまし

－人づくり・まちづくりのモデル的な拠点施設として－

○人にやさしい施設
京都御池中学校，乳幼児保育所，老人デイサービスセンター等，乳幼児から高齢者までが集う複合施設であり，中学生の確かな学力を身につけ，豊かな心と生きる力を養う場として，地域の子育て支援及び高齢者福祉の拠点施設としています。

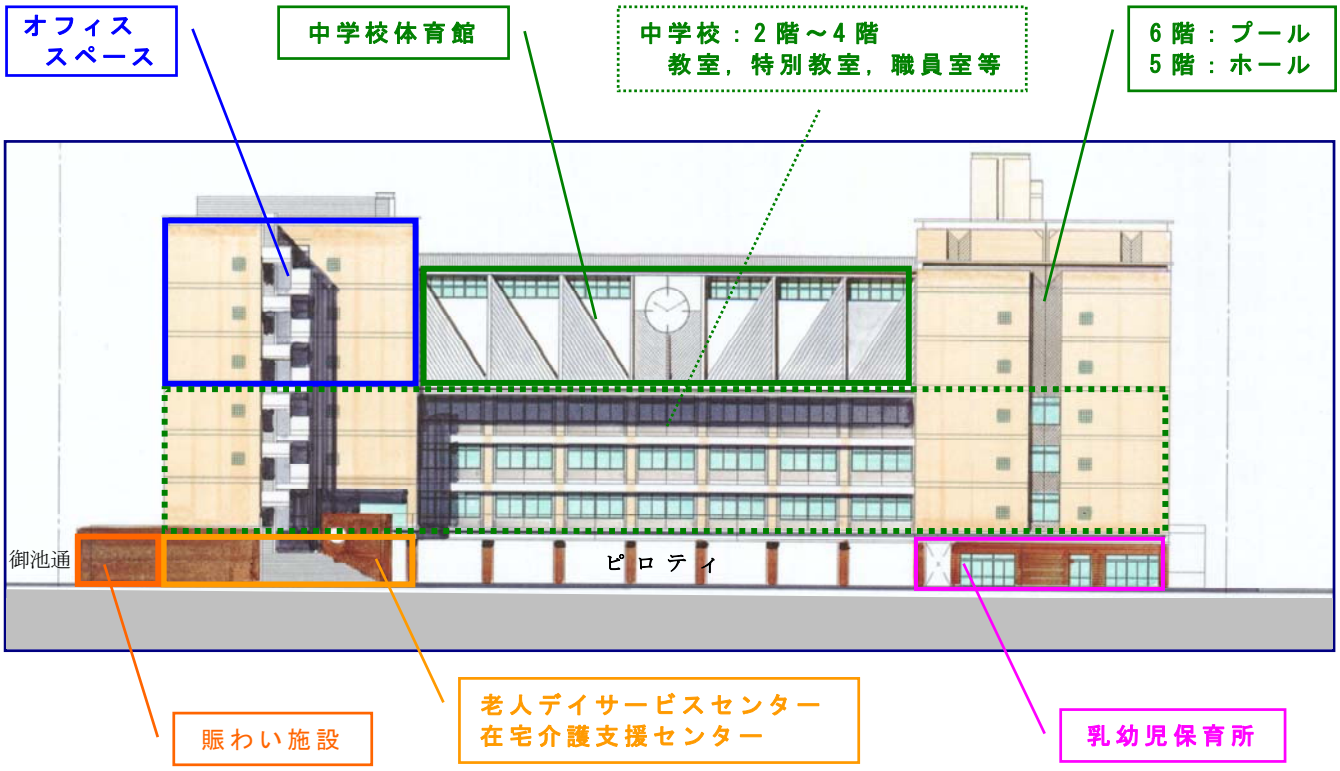
○環境にやさしい施設
屋上緑化，井戸水・雨水の活用，再生資材の使用等による環境負荷の低減，太陽光・風力発電装置の設置，次世代エネルギーである**燃料電池**を全国に先駆けて導入するなど，子どもから大人までが環境を学びあえる環境にやさしい施設としています。

○安心・安全な施設
耐震性に優れた建物，災害応急用物資備蓄倉庫や防災井戸の設置等，地域の安心・安全な施設としています。

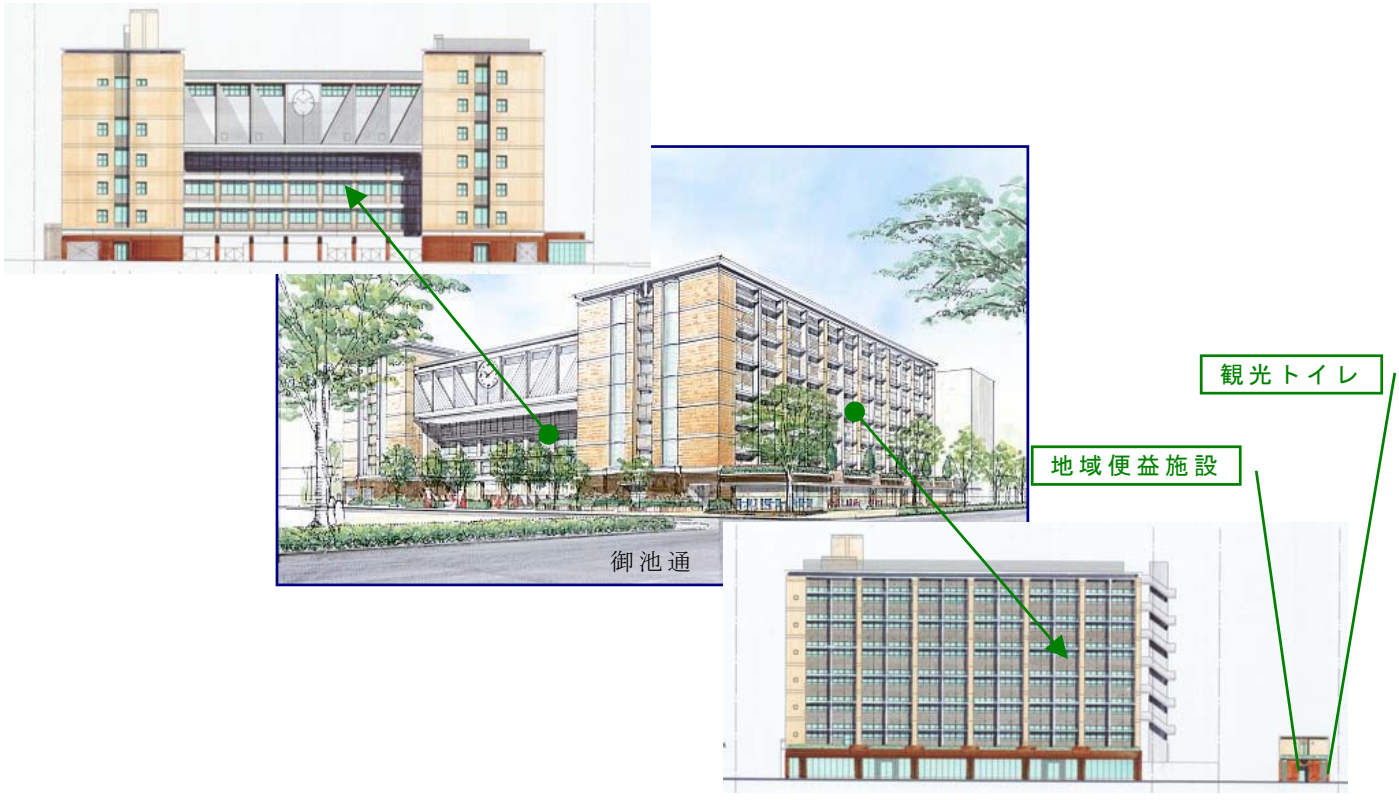
○にぎわいのある施設
御池通に面して賑わい施設を設置するなど，にぎわいのある魅力的な施設としています。

建物立面図

○東立面図（運動場から建物をみた立面図）



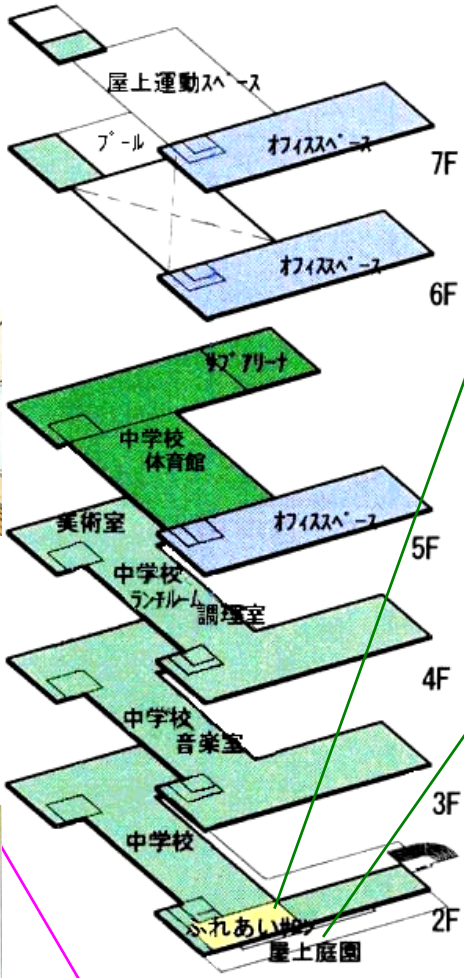
○西立面図（柳馬場通からみた立面図）



○南立面図（御池通からみた立面図）

施設構成

○地下１階から
地上７階
の施設の構成



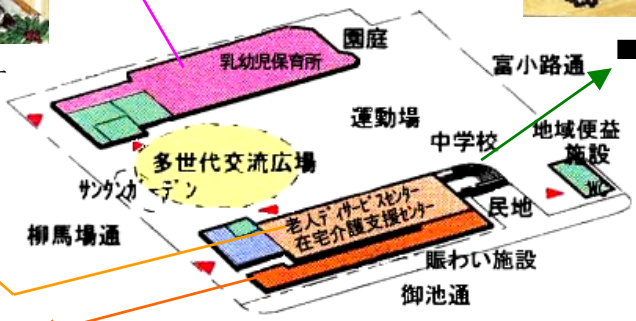
■中学校ふれあいサロン
イメージ

■乳幼児保育所 イメージ

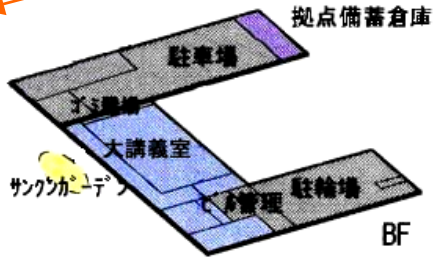
■屋上庭園 イメージ

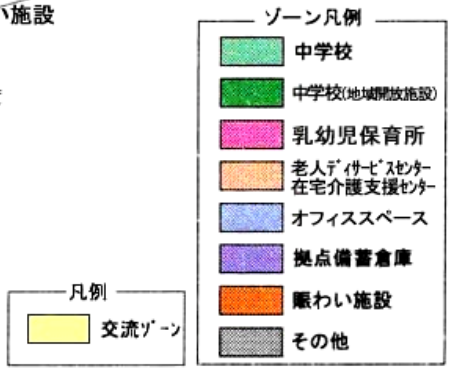
■老人デイサービスセンター
イメージ

■中学校昇降口 イメージ



■賑わい施設 イメージ





※掲載図面は，実際の建物と異なる場合があります。

◆事業の概要

事業の方式

○事業者が，京都御池中学校・複合施設の設計及び建設を行った後，直ちに市に施設の所有権を移転し，維持管理業務等を行うＰＦＩ手法により実施します。

○ＰＦＩ手法の導入により，優れた設計，施設機能を確保したうえで，学校施設等の設計・建設，15 年間の維持管理等の経費は 63.2 億円であり，従来手法と比較して，約 30 パーセントの削減が見込まれます。

事業期間

○建物の設計・建設年度・・・・平成 16 年度，17 年度

・平成 18 年　3 月　　建物の竣工

・平成 18 年　4 月　　中学校移転・各施設開所

○施　設　の　維　持　管　理・・・・平成 18 年度～平成 32 年度末（15 年間）

◆ＰＦＩ手法の導入

経　過

平成 15 年	5 月　7 日	桝本頼兼京都市長が，定例記者会見において，京都御池中学校・複合施設整備にＰＦＩ手法を導入することを公表
平成 15 年	5 月 15 日	事業の実施方針を公表
平成 15 年	11 月 25 日	事業者募集のため，入札公告及び入札説明書等を公表
平成 16 年	3 月　3 日	入札日（事業者が提案書を提出）
平成 16 年	3 月 23 日	事業者（最優秀提案を行った事業者）を決定
平成 16 年	5 月 28 日	市会の議決を経て，事業契約を締結

事業者の選定

○平成 16 年 3 月，設計・建設等に実績がある 5 グループが，施設計画等の提案書を提出

○京都御池中学校・複合施設整備等事業提案審査委員会（委員長　村田隆紀京都教育大学長委員 11 名)において，6 回の審査委員会，3 つの検討部会で検討・審議を重ねて，優れた提案であるとともに相対的に低廉な価格の事業者を選定

※詳細については，ホームページ(http://www.edu.city.kyoto.jp/oike-fukugo) で公表しています。

◆中学校統合の経過

平成 13 年	9 月 26 日	城巽，柳池，滋野の 3 中学校のＰＴＡや関係 14 元小学校区の地域の皆様による，統合に向けた議論と検討を経て，統合要望書が京都市長，京都市教育委員会に提出される。
平成 14 年	4 月	3 中学校を一次統合し，京都城巽・京都柳池中学校の 2 校を開校
平成 14 年	7 月 12 日	本統合に向け，新校名を「京都御池中学校」とする要望書が提出される。
平成 15 年	4 月	京都御池中学校を開校

再生紙を使用しています